

資料4

## 三木市 中小企業のクロスSWOT分析

委員別の個票

## 三木市 中小企業のSWOT分析(案)

内部環境(ミクロ環境)	
強み(Strength)	弱み(Weakness)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三木金物ブランドの知名度・伝統</li> <li>・三木金物を中心とした技術力・特許等知的財産・地場産業集積</li> <li>・金物業界の輸出・輸入ノウハウ</li> <li>・中小企業・創業の支援体制の充実</li> <li>・経営革新計画等の承認企業の増加 (高付加価値化・生産性向上)</li> <li>・自然環境／農業製品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所数の減少</li> <li>・後継者難による廃業(後継者不足)</li> <li>・人手不足(人材不足)</li> <li>・伝統技術の承継難</li> <li>・商店街の商店数の減少</li> <li>・広い市域による分散</li> <li>・一般消費者への訴求力(三木／金物共)</li> <li>・情報発信力</li> <li>・他企業とのアライアンス</li> </ul>
外部環境(マクロ環境)	
機会(Opportunity)	脅威(Threat)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者のニーズ・ライフスタイルの多様化</li> <li>・インターネットの普及(SNS)</li> <li>・IT、IoT、AI(人工知能)、ロボットの技術進展</li> <li>・市場のグローバル化の進展</li> <li>・国の中小企業施策の充実(補助金・税制・公的融資)</li> <li>・高付加価値(高価格)志向</li> <li>・ネット販売の拡大</li> <li>・高速道路網整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少とともに国内市場の縮小</li> <li>・大企業との競争激化</li> <li>・海外企業との競争激化(低価格品のコスト競争)</li> <li>・カントリーリスク</li> <li>・雇用情勢好転による大企業の新卒人材囲い込み</li> </ul>

## 三木市 中小企業のクロスSWOT分析(案)

A委員

強み(Strength)	弱み(Weakness)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三木金物ブランドの知名度・伝統</li> <li>・三木金物を中心とした技術力・特許等知的財産・地場産業集積</li> <li>・金物業界の輸出・輸入ノウハウ</li> <li>・中小企業・創業の支援体制の充実</li> <li>・経営革新計画等の承認企業の増加 (高付加価値化・生産性向上)</li> <li>・自然環境／農業製品</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所数の減少</li> <li>・後継者難による廃業(後継者不足)</li> <li>・人手不足(人材不足)</li> <li>・伝統技術の承継難</li> <li>・商店街の商店数の減少</li> <li>・広い市域による分散</li> <li>・一般消費者への訴求力(三木／金物共)</li> <li>・情報発信力</li> <li>・他企業とのアライアンス</li> </ul>	
機会(Opportunity)	積極戦略	弱点改善戦略
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者のニーズ・ライフスタイルの多様化</li> <li>・インターネットの普及(SNS)</li> <li>・IT、IoT、AI(人工知能)、ロボットの技術進展</li> <li>・市場のグローバル化の進展</li> <li>・国の中小企業施策の充実(補助金・税制・公的融資)</li> <li>・高付加価値(高価格)志向</li> <li>・ネット販売の拡大</li> <li>・高速道路網整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎経営革新への支援強化(イノベーション)</li> <li>◎創業への支援強化</li> <li>◎海外展開への支援強化</li> <li>○特許権等取得への支援</li> <li>★製品開発支援・商品力強化(デザイン／用途)</li> <li>★創業への支援強化(地域産品活用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎事業承継への支援強化</li> <li>◎人材育成への支援強化(生産性向上)</li> <li>◎先端設備導入への支援強化(生産性向上)</li> <li>○伝統技術承継への支援</li> <li>★情報発信支援</li> </ul>
脅威(Threat)	差別化戦略	防衛回避・縮小撤退戦略
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少にともなう国内市場の縮小</li> <li>・大企業との競争激化</li> <li>・海外企業との競争激化(低価格品のコスト競争)</li> <li>・カントリーリスク</li> <li>・雇用情勢好転による大企業の新卒人材囲い込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎経営革新への支援【再掲】</li> <li>◎海外展開への支援【再掲】</li> <li>○特許等取得への支援【再掲】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規雇用への支援(若年者)</li> <li>○商店街への支援(空き店舗対策)</li> <li>★選択と集積・集中による競争力強化</li> </ul>

※◎重点支援 ○継続支援 ★私案

## 三木市 中小企業のSWOT分析

B委員

内部環境(ミクロ環境)	
強み(Strength)	弱み(Weakness)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員規模20人以上～100人未満の事業所数は増加傾向で、対象の従業員数も増加している。</li> <li>・金物関連製造業の従業者数は増加傾向、出荷額は増加している。三木金物生産額は平成22年以降増加している。</li> <li>・三木金物ブランドの知名度・技術・ブランド力</li> <li>・金物業界の海外市場開拓・輸出ノウハウ</li> <li>・中小企業サポートセンターの相談件数が増加しており(平成28年1400軒超)、経営革新計画の増加や、経営力向上計画の認定件数の増加に貢献している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の従業員一人当たりの付加価値額は減少傾向で、兵庫県の0.72倍。</li> <li>・卸売業の事業所数、従業員数、商品販売額は減少傾向</li> <li>・商店街の商店数、営業店舗数は減少傾向、空き店舗数、空き店舗率は増加傾向</li> <li>・創業実現者数は増加しているものの、業種別では飲食業、サービス業、介護福祉が全体の8割</li> <li>・三木金物製品の輸出高は\$ベースで見ると10年間で20%～25%減少している。逆に輸入高は\$ベース10年間で約20%増加している。</li> <li>・前回答申で企業の集約化による経営効率化、経営基盤の強化の支援を挙げていたが、結果を見ると件数は上がっているが尖った施策がないので、成長力のある企業、成長分野の企業が増加しているのか疑問が残る。</li> <li>・前回答申では、異業種連携、地域内企業連携、产学連携を支援することになっていた。将来性のある有力な産業を育成する観点から产学連携、異業種連携等が重要と考えるが、三木市の関与が不十分。</li> <li>・前回答申で、まちの賑わい再生の観点から、産業と観光資源とを連携したツーリズムの開発の推進という施策の方向性に対して、具体的な施策および結果が不十分である。</li> </ul>
外部環境(マクロ環境)	
機会(Opportunity)	脅威(Threat)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者ニーズ・ライフスタイルの多様化</li> <li>・古民家カフェ、レストラン人気</li> <li>・働き方改革、田舎暮らし、テレワークの進展</li> <li>・ICT、IoT、AI、ロボットの普及加速</li> <li>・インバウンド需要の拡大(宿泊、観光)</li> <li>・中小企業投資促進税 平成28/7/1に施行された「中小企業等経営強化法」に基づき、中小企業等が策定する「経営力向上計画」の認定及び支援措置。 (平成29/10/31現在、全国37,325件、兵庫県1,877件、三木市40件認定済み)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少に伴う国内市場の縮小</li> <li>・海外企業(中国企業等)の技術力向上に伴う、三木金物の競争激化</li> <li>・三木市の給与所得、給与収入は横ばい。</li> <li>・労働力人口の減少(平成27年実績は10年前の87%)</li> </ul>

## 三木市 中小企業のクロスSWOT分析

B委員

強み(Strength)	弱み(Weakness)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>従業員規模20人以上～100人未満の事業所数は増加傾向で、対象の従業員数も増加している。</li> <li>金物関連製造業の従業者数は増加傾向、出荷額は増加している。三木金物生産額は平成22年以降増加している。</li> <li>三木金物ブランドの知名度・技術・ブランド力</li> <li>金物業界の海外市場開拓・輸出ノウハウ</li> <li>中小企業サポートセンターの相談件数が増加しており(平成28年1400軒超)、経営革新計画の増加や、経営力向上計画の認定件数の増加に貢献している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造業の従業員一人当たりの付加価値額は減少傾向で、兵庫県の0.72倍。</li> <li>卸売業の事業所数、従業員数、商品販売額は減少傾向</li> <li>商店街の商店数、営業店舗数は減少傾向、空き店舗数、空き店舗率は増加傾向</li> <li>創業実現者数は増加しているものの、業種別では飲食業、サービス業、介護福祉が全体の8割</li> <li>三木金物製品の輸出高は\$ベースで見ると10年間で20%～25%減少している。逆に輸入高は\$ベース10年間で約20%増加している。</li> <li>前回答申で企業の集約化による経営効率化、経営基盤の強化の支援を挙げていたが、結果を見ると件数は上がっているが尖った施策がないので、成長力のある企業、成長分野の企業が増加しているのか疑問が残る。</li> <li>前回答申では、異業種連携、地域内企業連携、産学連携を支援することについて。将来性のある有力な産業を育成する観点から産学連携、異業種連携等が重要と考えるが、三木市の関与が不十分。</li> <li>前回答申で、まちの賑わい再生の観点から、産業と観光資源との連携したツーリズムの開発の推進という施策の方向性に対して、具体的な施策および結果が不十分である。</li> </ul>	
機会(Opportunity)	積極戦略	弱点改善戦略
<ul style="list-style-type: none"> <li>消費者ニーズ・ライフスタイルの多様化</li> <li>古民家カフェ、レストラン人気</li> <li>働き方改革、田舎暮らし、テレワークの進展</li> <li>ICT、IoT、AI、ロボットの普及加速</li> <li>インバウンド需要の拡大(宿泊、観光)</li> <li>中小企業投資促進税制 平成28/7/1に施行された「中小企業等経営強化法」に基づき、中小企業等が策定する「経営力向上計画」の認定及び支援措置。 (平成29/10/31現在、全国37,325件、兵庫県1,877件、三木市40件認定済み)</li> <li>IT投資を積極的に行う中小企業の方が利益率の水準が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三木金物の海外展開の支援を強化し、ブランド浸透に努める。</li> <li>インバウンド観光客をターゲットとした三木市の魅力の発掘、SNSでの情報発信</li> <li>経営革新への支援強化(生産性向上) 従業員20人～100人未満の意欲ある経営者に対する支援として、中小企業経営力向上計画の認定を促進し、特にICT投資を含む労働生産性向上に資する設備投資を積極的に推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業承継の支援強化</li> <li>異業種連携、地域内企業連携の機会創出</li> <li>産学連携の支援強化により、既存事業の強化、成長産業分野の起業などイノベーションの機会を創る。</li> <li>働き方改革・テレワークの進展を背景に、IT企業等のサテライトオフィスを誘致。商店街の空き店舗の活用、魅力あるまちづくり、具体的には古民家カフェやレストランの誘致。</li> </ul>
脅威(Threat)		防衛回避・縮小撤退戦略
<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少に伴う国内市場の縮小</li> <li>海外企業(中国企業等)の技術力向上に伴う、三木金物の競争激化</li> <li>三木市の給与所得、給与収入は横ばい。</li> <li>労働力人口の減少(平成27年実績は10年前の87%) 人手不足・人材不足の深刻化</li> <li>中小企業経営者年齢の高齢化が著しく、廃業が増加している。</li> <li>中小企業の生産性は伸び悩んでおり、大企業との差が拡大傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営革新への支援</li> <li>事業承継の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規雇用への支援</li> <li>商店街への支援</li> <li>創業支援(飲食、サービス、介護等)</li> </ul>

## 三木市 中小企業のSWOT分析

C委員

内部環境(ミクロ環境)	
強み(Strength)	弱み(Weakness)
<ul style="list-style-type: none"><li>・遊休地(林野)が多い</li><li>・地質が未固結の堆積層のため造成が容易</li><li>・山陽自動車道路が市域を通っている</li><li>・高規格道路(国道175号線)が市域を通っている</li><li>・有名な歴史的エピソード・遺物(三木合戦など。疎水関連のものも)がある</li><li>・自然環境に恵まれている</li><li>・明石・加古川・神戸までは通勤範囲</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・道路と通勤電車に難がある(通勤と観光客誘致にマイナス。ベッドタウンとしてもマイナス要因)</li><li>・市内中心部の道路が慢性的に混雑(信号が多く、対向2車線。片側2車線は175号線のみ。一本道ではないため慣れない人には走りにくい)</li><li>・JR大阪駅まででも1h30mほどで、大阪市内への通勤はややきつい(三宮駅まででも乗り換えが必要)</li><li>・歴史的遺物・遺跡が整備されていない(初めての人は車で三木城跡までたどり着けないかも。湯の山街道も同様)</li><li>・観光地としてのPRが(あまりにも)貧弱</li></ul>
外部環境(マクロ環境)	
機会(Opportunity)	脅威(Threat)
<ul style="list-style-type: none"><li>・阪神地区の理想的なベッドタウンとなりうる立地</li><li>・瀬戸内沿いの人口密集地からの手近な観光地になりうる立地 (安・近・短)</li><li>・ネット情報の一般化(情報入手方法の第1位。「安く」PRできる)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・若い世代(生産人口、子育て層)の市外流出</li><li>・近隣他市の市民誘致戦略</li></ul>

## 三木市 中小企業のクロスSWOT分析

C委員

強み (Strength)	弱み (Weakness)
<p>・遊休地・林野)が多い</p> <p>・地質が未固結の堆積層のため造成が容易</p> <p>・北摂市の交通の要所である</p> <p>・山陽自動車道の市域を通過している</p> <p>・明石・加古川・神戸までは通勤範囲・神姫バス・三宮行きは乗り換えも便利</p> <p>・高規格道路(国道175号線)が市域を通過している</p> <p>・車社会などで駐車が楽な施設が多い</p> <p>・有名な歴史的エビーニー・建物・三木合観など、駅周辺のものも</p> <p>ある</p> <p>・自然環境に恵まれている</p> <p>・三木金物ブランドの知名度・伝統</p> <p>・三木の美術館を中心とした技術・特許等知的財産・地場産業集積</p> <p>・金物業界の輸出 増入・バハウ・金物製品輸出額の増加</p> <p>・日本一の香米・全国一の生産量・山田錦の産地</p> <p>・日本一の兵庫県の数</p> <p>・日本一の炭酸泉(よかさん)</p> <p>・公園都市・三木防災公園・公園や運動施設・スポーツセンターもある</p> <p>・三木山公園・ホースラン・ベーグ等、広い敷地を持つ公園がいくつもあり休日のレジャーも豊富</p> <p>・自然の中で育てができる。</p> <p>・子育て助成制度</p> <p>・中小企業・創業者の支援体制の充実</p> <p>・経営革新計画等の承認企業の増加(寄付加重化・生産性向上)</p>	<p>・都心に向かうには交通機関が金額が高く不便(神戸電鉄)・通勤と観光客誘致にマイナス。ペットタウンとしてもマイナス要因)</p> <p>・マイカー必須の道路が慢性的に混雑(信号が多く、外向型車線。片側2車線)は175号線のみ。一本道ではないため慣れない人は走りにくく、たどり着けないかも。湯の山街道(同様)</p> <p>・歴史的遺物・温泉が整備されていない(初めての人は車で三木城跡まで来たら迷子)。</p> <p>・車社会とての影響、PRが(あまりにも)貧弱</p> <p>・後継者難による事業後継者不足)</p> <p>・伝統技術の承継難</p> <p>・商業率と商業率の同様化</p> <p>・金属製品製造業の付加価値額の低さ</p> <p>・三木市就業人口の減少、労働人口の減少化</p> <p>・商業率と商業率の同様化</p> <p>・金属製品製造業の付加価値額の低さ</p> <p>・三木市就業人口の減少、労働人口の減少化</p> <p>・伝統技術の承継難</p> <p>・商業率と商業率の同様化</p> <p>・金属製品製造業の付加価値額の低さ</p> <p>・三木市就業人口の減少、労働人口の減少化</p> <p>・道筋整備(175号線の早期全線化見附付)、直路整備(175号線)直路と並ぶ、通路直角(直角)の進入を防ぐことで中心部での渋滞を防ぐ。同時に山陽自動車道・175号線から市内への進入を容易にする</p> <p>・JRの途中乗り換えなしでの接続(大阪市内を「余裕」の通勤圏内へ)、道筋整備(175号線の早期全線化見附付)、直路整備(175号線までの道路の整備。片側車線化。神戸市西区と協同で)、南北道路(国道175号)以外の基幹道路が少なく、物資搬送が困難になります。</p> <p>・総合病院と呼べる医療機関がない(三木と小野で合併された病院があるが交通が不便)</p> <p>・人口減少が縮き、子供も減っている。</p>
<p>・機会(Opportunity)</p> <p>・阪神地区の理想的なベッドタウンとなりうる立地</p> <p>・瀬戸内海沿いの人口密集地からの手近な観光地になりうる立地(安・近・短)</p> <p>・ともと三木東あたりで渋滞は少ないが、新名神の開通で高速道路の渋滞緩和。ますます車でのアクセスが良くなっている。</p> <p>・ネット情報の一般化(情報入手方法の第1位。「安くPRできる」IT・IoT・AI(人工知能、ロボット)の技術進展</p> <p>・消費者のニーズ・ライフスタイルの多様化</p> <p>・市場のグローバル化の進展</p> <p>・国内の中小企業活用(補助金・税制・公的融資)</p> <p>・創業実現者数が多い。</p> <p>・神戸電鉄の知名度アップと、応援マードが高まっている。</p> <p>・市全体で盛り上げようという機運がある。</p> <p>・「キミがミキになる」が面白い。</p> <p>・外国人観光客が日本の包丁を購入する需要高い。</p> <p>・待機児童が少ない。(阪神間で不足)。</p> <p>・全国の金物園運営会員の伸長化(出荷額)</p> <p>・県下有効求人倍率1.0超え、H27以降</p> <p>・町内・自治会の活動が盛む。</p> <p>・待機児童が少ない。(阪神間では不足)</p> <p>・商圏世帯は兵庫県全体の1/2超え</p> <p>・60歳以上の夫婦2人世帯が多い</p>	<p>・積極戦略</p> <p>○ 駐光資源の強化・再発掘・PR強化</p> <p>・ラフワーセンター(植物園)の運営を通じて中高年層の来場者が見込める。加西の県立フラワーセンター(より近いのがメリット)</p> <p>・史跡の整備(風格を感じられるものに)、湯の山街道(木の道)の整備。地元特産品も。石畳・コブリーヤや金属ではなく、木や竹。</p> <p>・石畳で駐車場も近寄りやすい十分に確保</p> <p>・山田錦を活かす・商品展開(コラボ商品の開発)</p> <p>・市内での各種イベントの開催企画、地元需要に他府県需要の両方に営業</p> <p>・海外との販路開拓(輸出)・移設・生産を主または維持する支店で拠点を設け、商品を生産する</p> <p>・学芸保護の差別化(時間長・土日対応・長期休暇中の食事対応・習い事等)、他府県の名産品とコラボ商品の開発企画し、地元需要に他府県需要の両方に営業</p> <p>・専門技術や商品知識で販売する</p> <p>・創業への支援強化(ハイペースション)</p> <p>・創業への支援強化(ハイペースション)</p> <p>・海外マーケットへの開拓</p> <p>・海外マーケットへの支援強化</p> <p>・専門技術等取扱への支援</p> <p>・資本往來の実績の上昇(若年層の定住、市外からの流入支援)</p>
<p>・脅威(Threat)</p> <p>・若い世代・生産人口・子育て層の市外流出・若者の故郷三木市への愛着心の希薄化・全国的に人口減少・少子化</p> <p>・近隣他の市・兵庫県外への企業の新規入居傾向の込み</p> <p>・人口減少とともに国内市場の縮小</p> <p>・企業との競争激化</p> <p>・海外貿易としての利用があり、商店街が活性化しない。</p> <p>・高齢化でマイスターを手放す人、手放して欲しい人が増えている。</p> <p>・世代交代によって、所轄が少ないと感じる問題がある。</p> <p>・製造業への若年層離れ</p> <p>・海外製品への対抗</p> <p>・60歳以上の夫婦2人世帯が多い</p>	<p>・弱点改善戦略</p> <p>○ 交通網整備</p> <p>・道路整備(175号線の早期全線化見附付)、直路整備(175号線)直路と並ぶ、通路直角(直角)の進入を防ぐことで中心部での渋滞を防ぐ。同時に山陽自動車道・175号線から市内への進入を容易にする</p> <p>・JRの途中乗り換えなしでの接続(大阪市内を「余裕」の通勤圏内へ)、道筋整備(175号線の早期全線化見附付)、直路整備(175号線までの道路の整備。片側車線化。神戸市西区と協同で)、南北道路(国道175号)以外の基幹道路が少なく、物資搬送が困難になります。</p> <p>・総合病院と呼べる医療機関がない(三木と小野で合併された病院があるが交通が不便)</p> <p>・人口減少が縮き、子供も減っている。</p>
<p>・防衛回避・縮小撤退戦略</p> <p>○ 視光強化</p> <p>・歴史(三木合戦)を題材にした祭の創設(武者行列、有名武将役の市内外を回す催しでも参加できるようにして祭りへの参加が地元の意識保存と共に、祭りの活性化を図る。また祭りへの参加が地元の子どもたちの強い思い出となる環境だけができる(特集)。</p> <p>・譲り受けた文化財の保護(重要文化財を守る)。これは近畿地方では強い思い出の重要な文化財だけが守られる(特集)。</p> <p>・葉巻の利用促進につながるよう、人気車両の購入や動物園長を迎えるなどの施策。工の音段利用しない人の視光利用端で日常の定期的なイベント開催</p> <p>・経営革新への支援(再掲)</p> <p>・特許等取得への支援(特許)</p> <p>・たばこ・金物工業等との分野で、海外市場で海外企業が手が出せない高度技術を必要とする分野での事業化、そのためのマーケティングを始める</p> <p>・郊外大型サ高住を地元企業と連携して設立・運営することに対応の支</p>	<p>・新規雇用への支援(若年層)</p> <p>・商店街への支援(空き店舗対策)</p> <p>・出生率向上策として、企業への出産・育児制度改善要請と支援、市による児童手当等の強化</p> <p>・商店街空き店舗への創業実現支援</p> <p>・マイホームの実現可能性が高い。住民メリットも検討する。</p> <p>・商店街空き店舗への創業実現支援(市による制度PR)</p>

## 三木市 中小企業のクロスSWOT分析

E委員

強み(Strength)	弱み(Weakness)	
企業立地としての三木市のSWOT :「分析(案)」に加えて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高速道路の利便性、都市の市場・空港・港湾へのアクセス</li> <li>・金属製品製造業の伝統と集積</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少、若年層の転出</li> <li>・鉄道、一般道による市内・市外移動の距離感</li> <li>・製造業における1人あたり付加価値額の低下傾向</li> </ul>
機会(Opportunity)	積極戦略	弱点改善戦略
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの進展</li> <li>・働き方・ライフスタイルの多様化</li> <li>・レジャー産業の高度化・ニーズの多様化</li> <li>・三木SAへのIC設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内既存企業と市外企業/新規企業との連携、提携、共同事業等の支援促進</li> <li>・独自性のある集客事業の試み支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住むまち/訪れるまちとしての魅力向上、認知/イメージ向上</li> </ul>
脅威(Threat)	差別化戦略	防衛回避・縮小撤退戦略
<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内市場の縮小傾向</li> <li>・国内・関西経済の人手不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内既存企業と市外企業/新規企業との連携、提携、共同事業等の支援促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営支援・事業承継支援とともに、資源効率化、再配分</li> </ul>